

令和3年5月

魚津市定例記者会見



日時：令和3年4月30日(金) 午後1時30分～午後2時00分

場所：市役所第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、読売新聞社、NHK、NICE-TV、ラジオミュー

市当局出席者：市長、民生部長、健康センター所長、情報広報課長

1. 市長からの発表事項

(1) 高齢者を対象とした新型コロナワクチンの接種について

- ・ 高齢者を対象とした新型コロナワクチン接種券の発送状況については、すでに4月26日に80歳以上の方々、約4,500人に発送済。次は5月11日頃に75～79歳に発送する。順次1週間刻みで、5月18日頃に70～74歳に発送、5月25日頃に65～69歳に発送の予定。
- ・ 接種スケジュールについては、市内高齢者施設入所者（約1,000人）へは4月21日から順次接種を開始しています。（4月27日現在12施設に850回配布済み）
- ・ 個別接種については、市内19医療機関の協力を得てスタートしていく予定。既に接種券を発送済みの80歳以上の方々については、4月26日以降接種券が届き次第予約を受け付けている。なお、富山労災病院については5月17日から予約開始。接種については5月17日からの開始予定。予約方法は、接種券が届いた方から個別の医療機関へ直接予約。実施医療機関については別紙参照してほしい。それぞれの医療機関によって態勢や時間が異なる。いくつかの医療機関は来院時に事前予約が可能となっている。
- ・ 集団接種については、予約開始日が5月11日の予定。接種開始日については6月6日からを予定している。接種の場所については旧総合体育館の予定。接種の時間については、基本的に木曜の午後、土曜の午後、日曜の午前・午後を予定している。予約の方法は、市のコールセンターへの電話予約。準備が整い次第「魚津市公式LINEアカウント」での予約も開始する予定。
- ・ 4月23日に総務大臣から各自治体に、7月末までに高齢者への接種を完了できるよう準備して欲しいとの要請があった。これまで魚津市では8月上旬までに完了させようと準備をすすめてきたが、予定より前倒しで完了させるためには、集団

接種会場が旧総合体育館だけでは足りなくなる可能性がある。別の会場の追加も検討しており、日程が確定した場合はすぐにお知らせしたい。

- ・スムーズに予約ができて、混乱なく円滑に接種ができることが一番大事なので、着実にできるよう準備したい。

(2) 移住コンシェルジュの任命式を行います

- ・任命式は5月6日（木）9時から市役所で行う。移住コンシェルジュに任命されるのは中村静恵さん。地域おこし協力隊としての3年間の任期が終了し、新たに移住コンシェルジュとして活躍して欲しい。さらに出会いコンシェルジュも兼務し、婚活支援事業なども推進してもらう予定。

(3) 魚津テクノドーム（ありそドーム）大規模改修事業におけるスポーツ振興くじ助成金の交付内定について

- ・4月15日に独立行政法人日本スポーツ振興センターから令和3年度スポーツ振興くじ（toto）助成金交付内定通知があった。「魚津テクノスポーツドーム大規模改修事業」の財源として助成金1億円が内定した。（満額内定）
- ・事業内容は、アリーナ床面の全面張替工事（施工面積2,440㎡）とアリーナの照明266基をすべてLED化する工事。工事費は2億782万円。工事期間は12月から翌年3月まで。期間中はありそドームを休館する必要がある。開催予定の大会等は別会場を調整済み。
- ・今回の改修は平成10年のオープン以来の大規模改修となる。この改修により年間の二酸化炭素の排出量が700tから200tへ約70%の削減となる。電力についても約70%の削減となる予定。今後も必要な施設については、このように手当てをしながら環境にやさしく寿命を延ばしていく取り組みを進めたい。

(4) 「届けたい。ありがとう。～ happy mothers day ～」（cocomama marche）開催について

- ・5月9日（日）は母の日だが、母の日の前日の5月8日に「母の日」をテーマにしたマルシェを開催する。同時開催するパパクエストは、パパにしかできない育児の関わり方を考える、父と子のイベント。パパが体験を積み重ねて、パパとしての成長を促す。主催はcocomamaとNAPsの合同開催。

(5) 魚津の農林水産業 体験・応援プロジェクト

5月に開催する「親子体験会」はこちら！

うおづの田んぼ親子体験会（第1回）米づくり 田植え体験を行います！

- ・魚津の農林水産業を幅広く応援していくイベントの第1弾、5月に開催する「親子体験会」の案内。4月16日～23日に各コースの参加者を募集したところ、親子70組の定員に対し、親子96組(192名)からの申込があった。(参加者は抽選で決定)
- ・5月は、「田んぼ」、「やさい(ハウス)」、「くだもの」、「やさい(露地)」の4つのコースでそれぞれの体験会がスタートする。

2. 質疑応答の内容

「ワクチンの確保」について

《記者からの質問》

現在確保しているワクチンの量はどれだけか。5/17の週までに80歳以上の量は確保できるのか。

《回答》(健康センター所長)

4/12の週に2箱到着、4/26の週(5/1)に2箱到着予定、さらに5/10の週と5/17の週に届くよう、合わせて7箱を国に申請中。※1箱は約1,000回分 そのため80歳以上の量は確保できる見込み。

「ワクチンの個別接種」について

《記者からの質問》

個別接種を受けられる時間帯は医療機関ごとに異なるのか。また、ワクチン1瓶で5～6人分とのことだが、1瓶分ちょうど的人数が集まるまで打てないのか。

《回答》(市長)

個別接種を受けられる時間帯は医療機関ごとに異なる。ワクチンに余りが出ないよう予約の人数を調整できるのかは、現在のところ不透明。ワクチンが余った場合は、高齢者施設等に勤務してまだ接種できていない方などに打てるよう、連絡方法などのネットワーク構築を検討中。

《記者からの質問》

個別接種を受けられる医療機関を増やすことは考えているか。

《回答》(市長)

個別接種を受けられる医療機関については、既にフルに協力を得ている状態なので、とりあえず様子を見たい。

《記者からの質問》

自力で申請ができない人へのケアは考えているか。

《回答》(市長)

身近に介護者がいないなどの理由により自力で申請ができない人への対応については、既に地域包括支援センターで相談を開始している。巡回接種やその他の対応も検討中。

「ワクチンの集団接種」について

《記者からの質問》

集団接種の会場を増やす可能性はどのくらいあるのか。

《回答》（市長）

現在の体制では（国が要請している）7月末までにワクチンを打ち終えることは無理である。打ち終えられる体制を整えるためには会場を増やす必要がある。

《記者からの質問》

集団接種の予約は、初めはコールセンターのみで受け付けるのか。ホームページでは受け付けないのか。

《回答》（市長）

基本コールセンターと公式LINE アカウントを併用して受け付けることになるが、初めはコールセンターのみで、LINE からの予約の方についてはもうしばらく後になる。なお、ホームページからの受付は考えていない。

《記者からの質問》

電話予約を受け付けるコールセンターは何人で対応しているのか。

《回答》（市長）

コールセンターは現在4回線に対応している。（今は相談の受付のみ）まだ80歳以上の方にしか案内を送っていないので、回線がひっ迫していることはないが、今後状況により増やす可能性はある。

《記者からの質問》

公式LINE アカウントからの予約開始は5/11の予約開始日より後になるのか。

《回答》（情報広報課長）

今のところ集団接種の会場を増やす可能性などがあり、受けられる人数などが確定していないため、公式LINE アカウントからの予約システムを完成できない。そのため5/11の予約開始日に間に合うかはわからない。5月中旬頃には開始できるようにがんばりたい。

「市民へのメッセージ」について

《記者からの質問》

今後の展望・希望などを含めた市民へのメッセージをいただきたい。

《回答》（市長）

現在はワクチンの入荷が不透明だが、国も6月にはワクチン配布計画を示すとのこと。市としては市民のみなさんがスムーズに接種できるよう体制を整えるので、市民のみなさんも市を信頼してワクチンを受けてほしい。

《記者からの質問》

今の市長のメッセージには急がなくても大丈夫という想いも含まれているのか。

《回答》（市長）

接種券発送のプランを作る際には、混乱が起きないように確実に受けってもらうためにはどうしたらよいかを考えていた。今回は接種を受ける人だけでなく打つ方も初めてであるため、初めは少ない人数になるよう計画した。問題となるのは一番人数の多い64歳以下の方々に対応できるかだが、必ず希望者には行きわたるので、落ち着いてご理解をいただきたい。